

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回福津市地域密着型サービス部会 (介護保険運営協議会)
開催日時		令和7年3月14日(金) 19:00~20:00
開催場所		福津市役所本館2階 中会議室
委員名		出席委員 松本 直人 部会長、 山城 崇裕 委員、 大庭 祥子 委員、 柳谷 里枝子委員、 原 雅昭 委員、 田島 勝彦 委員
所管課職員 職氏名		高齢者サービス課 桑野課長 介護事業所指導係 林田係長、上田、岡本
会 議	議 題 (内容)	1. 福津市地域密着型サービス事業所の指定更新について(意見徴収) 2. 福津市地域密着型指定事業所の指定状況について(説明) 3. 福津市居宅介護支援事業所の指定状況について(説明) 4. 令和6年度運営指導の実施状況について 5. 看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募について 6. その他
	公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・次第 ・資料1 ・資料2 ・資料3 ・資料4 ・資料5 ・当日資料
会議録の作成方針		<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 記録内容の確認方法 会長に確認
その他の必要事項		
審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)		

○結論等

1. 福津市地域密着型サービス事業所の指定更新について（意見徴収）
2. 福津市地域密着型指定事業所の指定状況について（説明）
3. 福津市居宅介護支援事業所の指定状況について（説明）
4. 令和6年度運営指導の実施状況について
5. 看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募について
6. その他

○経過

1. 課長挨拶
2. 部会長挨拶
3. 議題

○議題の経過

1. 福津市地域密着型サービス事業所の指定更新について（意見徴収）

林田係長：資料1、当日資料について説明。

松本部会長：従業員的生活相談員の常勤兼務1人となっていますが、管理者との兼務の1ですか。

岡本：はい。管理者と生活相談員の兼務です。

松本部会長：浴室の写真について、脱衣所がわかりにくいですが、どのような感じですか。

林田係長：奥にトイレ、手前に洗面台、中間にスペースがあり、脱衣所として十分な広さがあるように感じました。

松本部会長：脱衣所内のトイレにカーテンはありますか。

林田係長：恐らくなかったです。

松本部会長：基本的には使用しないとしているのかもしれませんが、もし浴室利用中に脱衣所内のトイレを使用することがあるのであれば、仕切りがあった方が良いと思います。

林田係長：事業所内に浴室内、浴室横、静養室横の3カ所あるので、浴室内トイレを使用しなければ足りないことはないと思います。

松本部会長：お風呂利用者のみが使用するのかもしれませんが、少し気になりますね。他に質問はありますか。

山城委員：平面図を見ると浴槽が2つありますが、同じエリア内ですか。

林田係長：はい。同じフロアに違う大きさの浴槽が2つあります。

松本部長：他にありませんか。それでは次の議題に移ります。

2. 福津市地域密着型指定事業所の指定状況について（説明）

林田係長：資料2説明。

松本部長：地域密着型事業所の総数として増減はないですか。

林田係長：数に増減はありません。

松本部長：他にありませんか。次の議題をお願いします。

3. 福津市居宅介護支援事業所の指定状況について（説明）

林田係長：資料3について説明。

松本部長：居宅の事業所数も増減はありませんか。

林田係長：令和6年度では、うみがめプランが増え、津屋崎園ケアプランサービスが廃止となったので、総数に変更はありません。

松本部長：ケアマネジャー、事業所数が足りない現状はありますか。

林田係長：福津市内では話を聞いていません。

松本部長：どこの事業所も人手不足と聞きますが原委員、大庭委員の事業所はいかがですか。

原委員：事業所の職員で資格を取得していく動きはありますが、新規採用して増員はあまりない。

大庭委員：同じく事業所内で資格を取る職員などの動きはありますが、新規採用での増員は最近なく、かといって人員不足で困っているわけではないです。

原委員：宗像市はケアマネジャーが少ないと聞いたことがあります。

松本部長：宗像市はケアマネジャーの更新にかかる費用等への補助金があり、宗像市に住所はなくても、勤務先が宗像市であれば、市に負担してもらえる制度がある。介護系の資格に対して補助が出ているみたいです。特別養護老人ホームもできる予定があります。

原委員：利用者に動きがあるかもしれないですね。

松本部長：先ほどの議題に戻りますが、地域密着型の施設数等に課題はありませんか。

岡本：デイサービスに関しては、Let'sリハ福津が増え、開設してすぐは利用者が集まらず困られている時期もありましたが、最近は軌道に乗り、定員数も増員するなど順調であり、他に人が少ない、事業所が足りない話はありません。入

所系の施設に関しては、基本的に満床の状態です。待機者数が多数いる現状ですが、空きが発生して待機者に声掛けをしても断られる方が多く、すぐに空きが埋まらない期間が発生したりするなど、実際の待機状況の把握が難しい状況にあります。事業所数が足りない、過多ではないと思います。

松本部会長：逆現状であり、待機者数は有るのに空室が埋まらないのは、経営状態が厳しいです。グループホームなどは特に定員が少ないため、1人、2人空きが出ると経営的には厳しくなってしまいます。私の事業所にも空きがあります。

大庭委員：また内殿に住宅型老人ホームが立ちますね。80床と聞いています。

松本部会長：足りすぎる、足りない、どちらでも大変ですね。情報共有しながらいきたいと思えます。それでは次の議題をお願いします。

4. 令和6年度運営指導の実施計画について

林田係長：資料4について説明。

松本部会長：中身的なもので何かありますか。

林田係長：県同行の運営指導に関して問題なく行えました。福津市の運営指導につきましても、福岡県介護支援専門員協会に同行して頂く際などケアプラン点検に時間を要する事はありましたが、内容的には問題なく行えています。介護支援専門員協会との同行は、専門職から色々と教えて頂く良い機会になっていると思えます。

松本部会長：加算項目だけでなく、運営基準等も細かくなっているため、留意点等も教えて頂けたらと思えます。協力医療機関に関する届出など、確認が必要な事項に関して情報提供いただけるとありがたいです。それでは次の議題に移ります。

5. 看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募について

林田係長：資料5について説明。

松本部会長：看護小規模多機能型居宅介護事業所の募集は今回で3期目になります。必要性、人員配置等を含め、厳しいところがあるように感じます。他のエリアにも数があるサービスでもないので、何か工夫をしていかないといけないのではないかと思います。他の地域の成功例や取組について等、研修会や講演会をするのも良いと思えます。着手しようと思えるかが鍵になってくるかと思えます。小規模多機能型居宅介護事業所が1事業所減った募集であり、現状集まっていない為、公募だけでなく何かが必要だと思えますがいかがでしょうか。

大庭委員：定期巡回と相性が良いのでしたいと思っておりますが、福津市には土地がありません。空いている土地はほとんどが市街化調整区域のため、何も建てられない。市街化調整区域から外せないか動いたりもしたが、変更することは厳しく、土地問題でコストが大幅に上昇してしまうため難しい。土地の所有者全員の同意

が必要で、市街化調整区域を外れると土地代が急上昇し、固定資産税等の兼ね合いがあるため難しい。

原委員 : 建築に関して現在建築費用は1.6倍、工期は2倍と聞きます。

松本部長 : 中々難しいですね。

山城委員 : どれくらいの広さを求めているのですか。

大庭委員 : 駐車場入れて300坪あれば望ましいが、福津市内に300坪の土地は全くなく、先日若木台に300~400坪の土地がでたが1億円で驚きました。土地事情で困っています。

原委員 : 土地柄なのか、小規模多機能型居宅介護も利用率はそこまで高くないと聞いています。

松本部長 : 地域で支え合いができていれば小規模多機能型居宅介護は必要ないものであり、利用が不安定な人などにしっかり関わっていけるサービスであるので利用率は低いのかもしれません。コロナの影響で在宅生活を頑張る人も増えてきてはいると思います。地域の在り方について現場からの色々な声があると良いですね。それでは次の議題に移ります。

6. その他

田島委員 : 2月の新聞記事にて、介護認定に関して、認定の申請から原則30日以内に結果を通知することになっていますが、全国平均で40.2日かかっていることがわかったそうです。福津市では平均何日ですか。福岡市では認定調査員にタブレットを持たせてスピードアップを図っているそうですが、福津市ではタブレットの導入予定はありますか。

林田係長 : 平均日数について、データが手元にないためこの場でのお答えができませんが、人によって30日以内に出る方もいればそれ以上にかかる方もいらっしゃいます。認定調査と主治医からの意見書が必要になりますが、ご本人の体調面で調査が受けられない場合や、主治医からの意見書の返送が遅れてしまう場合などがあり、短い期間で出せるようにしていますが、30日を過ぎてしまう場合も実際にはある現状です。

桑野課長 : タブレットについて、研修や、勉強会などには参加しておりますが、費用の課題があります。現物を見るなど勉強しているところです。

原委員 : 議題の中で、宗像市の資格に対する補助金がありましたが、地域密着事業所に対しても物価高騰支援に対する補助金がありますが福津市にはありません。前年度お願いに行ったことがあります。またご検討頂けると嬉しいです。市長や市議会議員に相談したいとは思いますがご検討お願いします。

松本部長 : 認定調査について、区分変更率等がわかれば教えてほしい。審査会なのか調査結果なのか、ばらつきがあるように感じている。実態について調査を検討して

ほしいです。介護度、認定期間等がどこをみて判断しているのか、何が原因でいまの状態になってしまっているのかが気になります。

山城委員 : 審査する側の意見として、よくわからないまま書面見て審査してしまうことがある。何が安定で何が不安定なのか判断基準を見直した方が良いと思います。審査する側が良くわからないまま判断してしまうことがあるので、基準をわかりやすいマニュアルを作成した方が良いと思います。

松本部部长 : 審査を進行する人、調査員によってばらつきが出てしまっているような気がしますね。市民の不利益とならないように、現状を確認していただければと思います。

柳谷委員 : 認定調査にて立ち合いをする機会がありますが、調査員によっては、認知症の利用者にたいしても勢い良く聞いてしまう方もおり、立会人の家族も驚かされていました。認知症の高齢者であることを踏まえた上での話し方をわかられていない方もいるように感じました。

松本部部长 : ありがとうございました。他に意見等ありませんか。なければ本日の内容は終了です。

上田 : 事務連絡。
本日は、長時間ありがとうございました。